

## 海運〈経営・全般〉

---

2021年3月22日

# 抗菌メッキの船上導入拡大 神戸製鋼、旭海運と神鋼物流運航船に

神戸製鋼所は、同社が開発し新型コロナウイルスに対する効果も実証された抗菌メッキ「ケニファイン」の船上での導入を拡大する。同社のインダストリアルキャリアである旭海運の8万5000重量トン型バルカー“旭丸”にトライアルで導入し検証を行ってきたが、さらに7万5000重量トン型バルカー“El Sol Sale”への導入も決定。さらに神戸製鋼グループで鋼材輸送を担う神鋼物流の内航船にも導入。抗菌メッキ技術を船員の労働・生活環境向上に役立てる考え。

“El Sol Sale”では、船員が利用するジムスペースの床にメッキ粉末を混ぜた塗料を塗布した。神鋼物流の内航船隊の一部では浴室の塗料としても使用する。抗菌メッキ技術の効果を確かめるため、ウイルス・細菌を定期的に採取して抗菌効果のデータを検証する。

“旭丸”では、船員が触れる回数が多い電子海図付近の手すりやドアノブなどに抗菌メッキ技術を導入。神戸製鋼の加古川製鉄所に入港するたびにメッキ塗布部分の細菌・ウイルスの付着状況を確認し、検査機関に検査を依頼した。この結果、一般的な細菌やウイルスへの抗菌効果があること確認している。“旭丸”では導入箇所を拡大し、空調設備の送風口に抗菌技術を使用した部材を導入する計画。